資料１

【下水道事業会計】適正な料金体系に対する考え方について（第3回審議会）

令和８年11月16日
下水道部下水道経営課
市川市

（次第）

1. 料金体系について

2. 適正な料金体系に対する考え方について

1 使用料の基本原則

＜下水道法第20条第2項に示されている基本原則＞

（1）下水道の量及び水質その他使用者の使用の態様に応じて妥当なものであること。
（2）能率的な管理の下における適正な原価に、改築を実施するために おいて必要となる資金として積み立てるべき額を加えたもの(※1)を超えないものであること。
（3）定率又は定額をもって明確に定められていること。
（4）特定の使用者に対して不当な差別的取扱いをするものでないこと。

※1 下水道法改正部分 施行日：公布の日（令和8年7月23日）から6月以内に政令で定める日

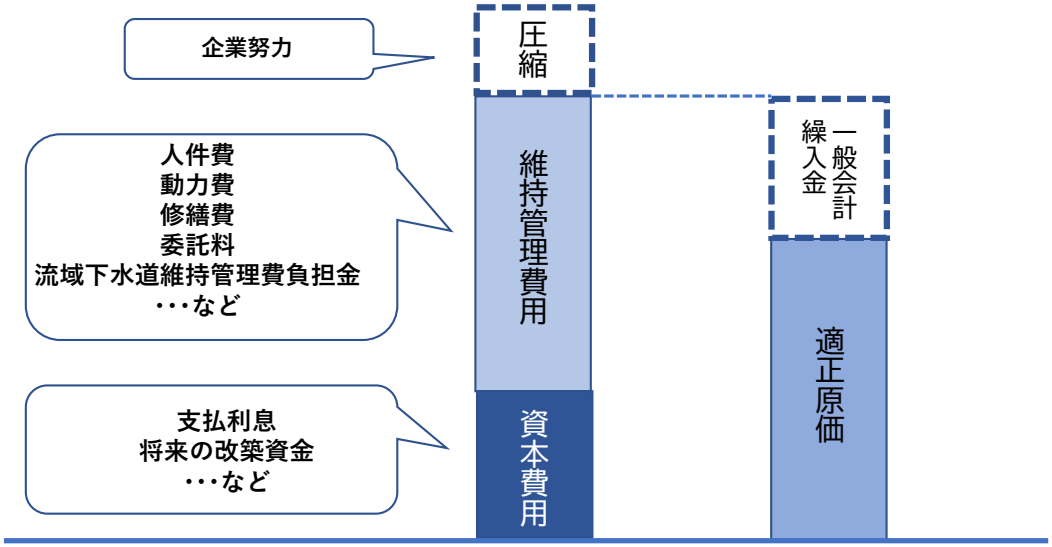
（1）原因者負担の原則 （使用水量に応じた負担の公平性の確保）

利用者	必要な施設能力（整備費）	施設利用割合（維持費）
小口（一般世帯）	小	小
大口（法人等）	大	大

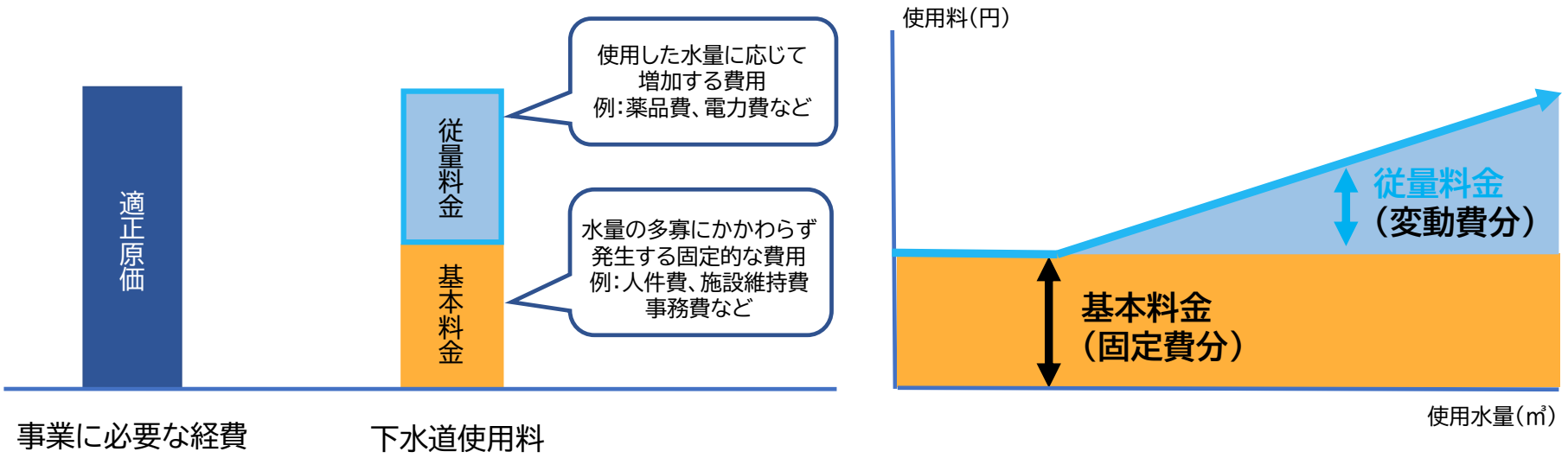
→

負担割合
小
大

（2）適正原価



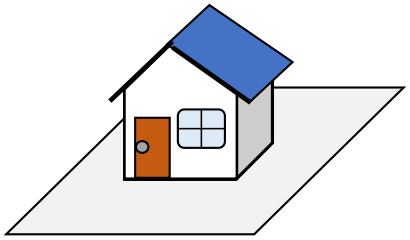
（3）基本料金と従量料金



（4）不当な差別（水道料金改定の例）

【居住用】

	改定前	改定後
基本料金（月額）	1,300円	→1,400円
（差額）	（100円）	



【別荘用】

	改定前	改定後
基本料金（月額）	3,000円	→ ~~5,000円~~
（差額）		~~(2,000円)~~



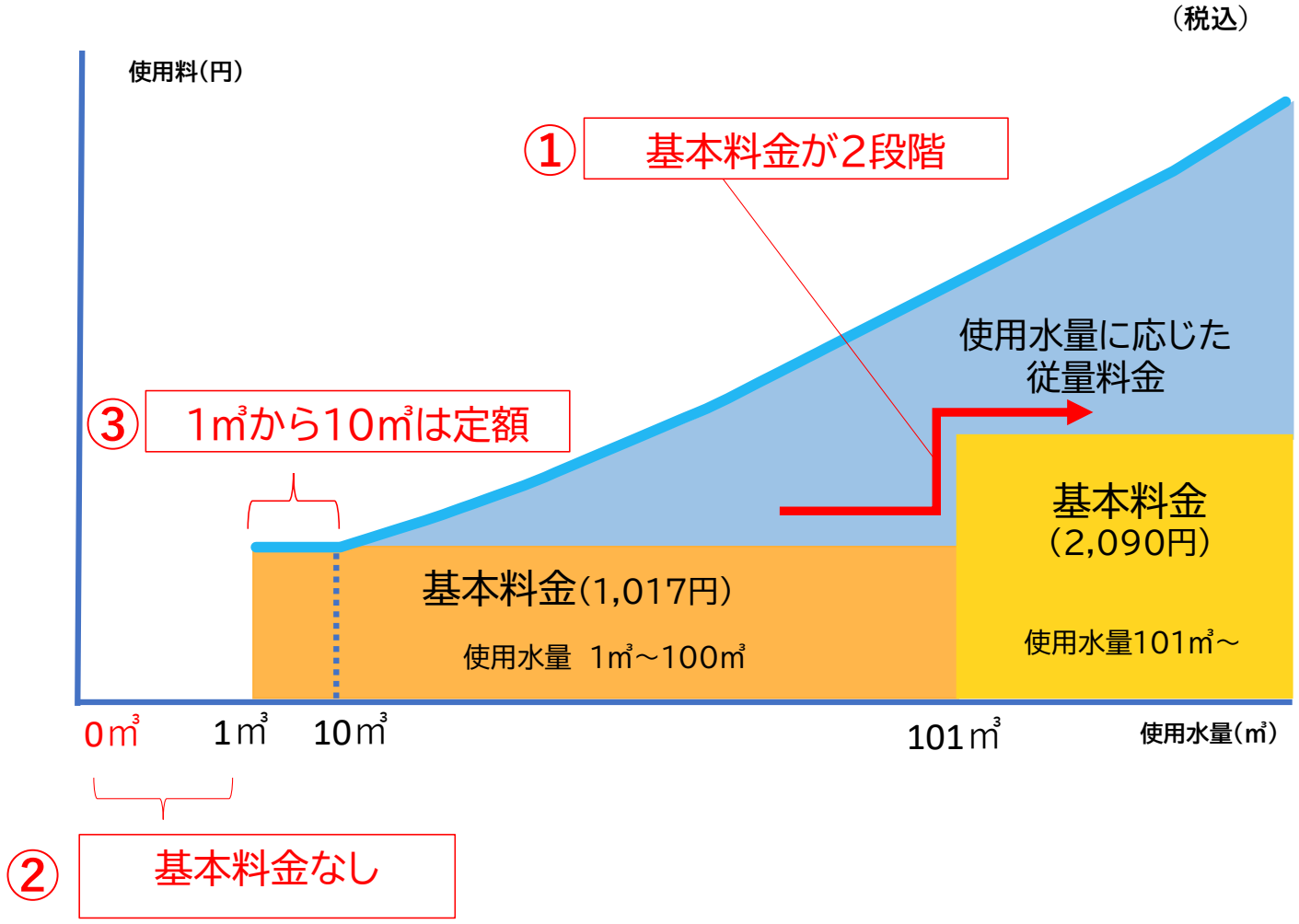
基本料金の大きな格差を
正当化する合理性がない
→違反無効

《参考》高根町簡易水道事業給水条例無効確認等請求事件
（最高裁平成18年7月14日判決）

2 本市の下水道使用料について

（1）本市の料金体系（現行）

現在：使用料単価144円/㎥（税抜）



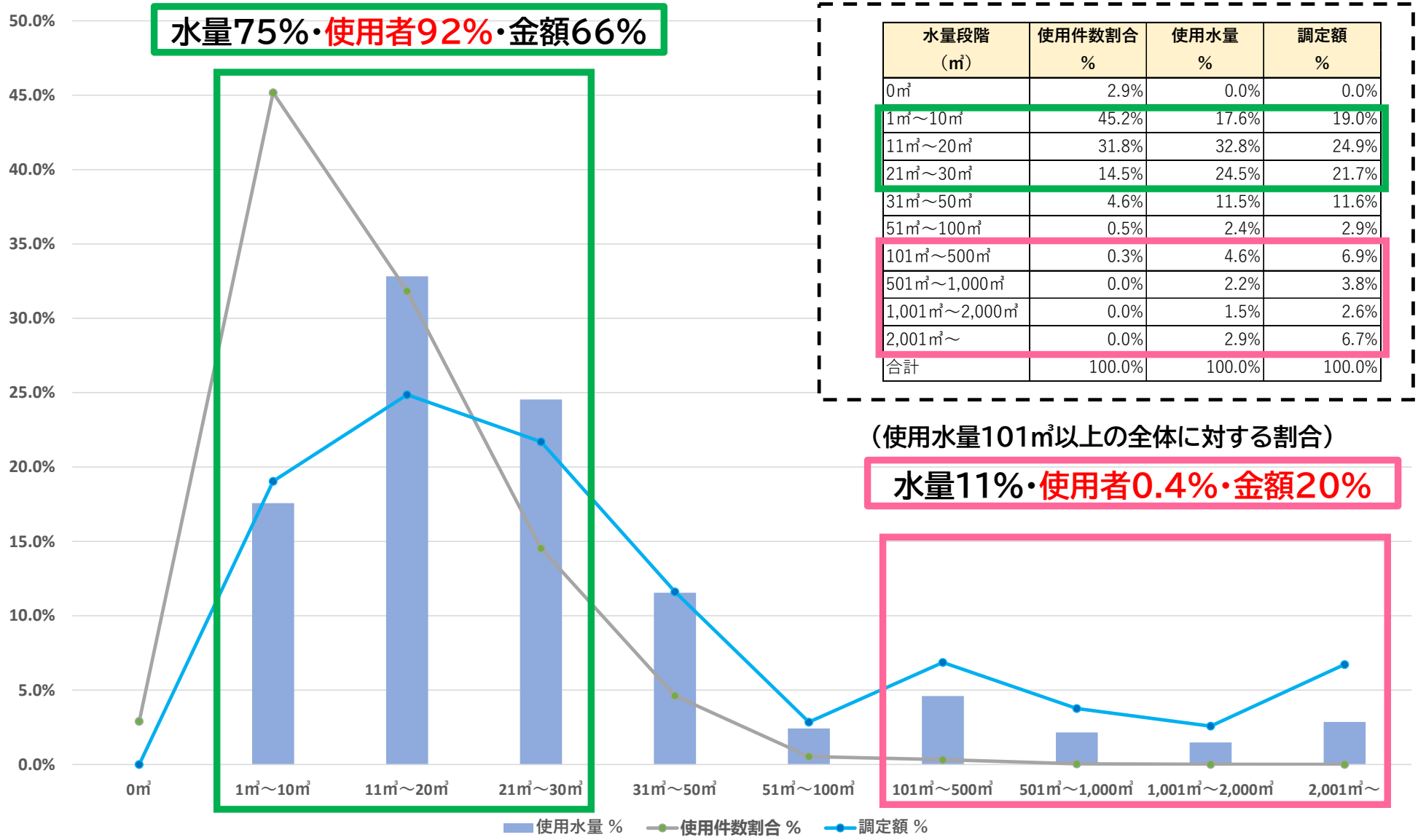
（2）ボリュームゾーン

（令和7年度実績）本市の下水道使用料（水量・件数・金額）の割合

（使用水量1㎥から30㎥の全体に対する割合）

水量75%・使用者92%・金額66%

水量段階（㎥）	使用件数割合 %	使用水量 %	調定額 %
0㎥	2.9%	0.0%	0.0%
1㎥～10㎥	45.2%	17.6%	19.0%
11㎥～20㎥	31.8%	32.8%	24.9%
21㎥～30㎥	14.5%	24.5%	21.7%
31㎥～50㎥	4.6%	11.5%	11.6%
51㎥～100㎥	0.5%	2.4%	2.9%
101㎥～500㎥	0.3%	4.6%	6.9%
501㎥～1,000㎥	0.0%	2.2%	3.8%
1,001㎥～2,000㎥	0.0%	1.5%	2.6%
2,001㎥～	0.0%	2.9%	6.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



（使用水量101㎥以上の全体に対する割合）

水量11%・使用者0.4%・金額20%

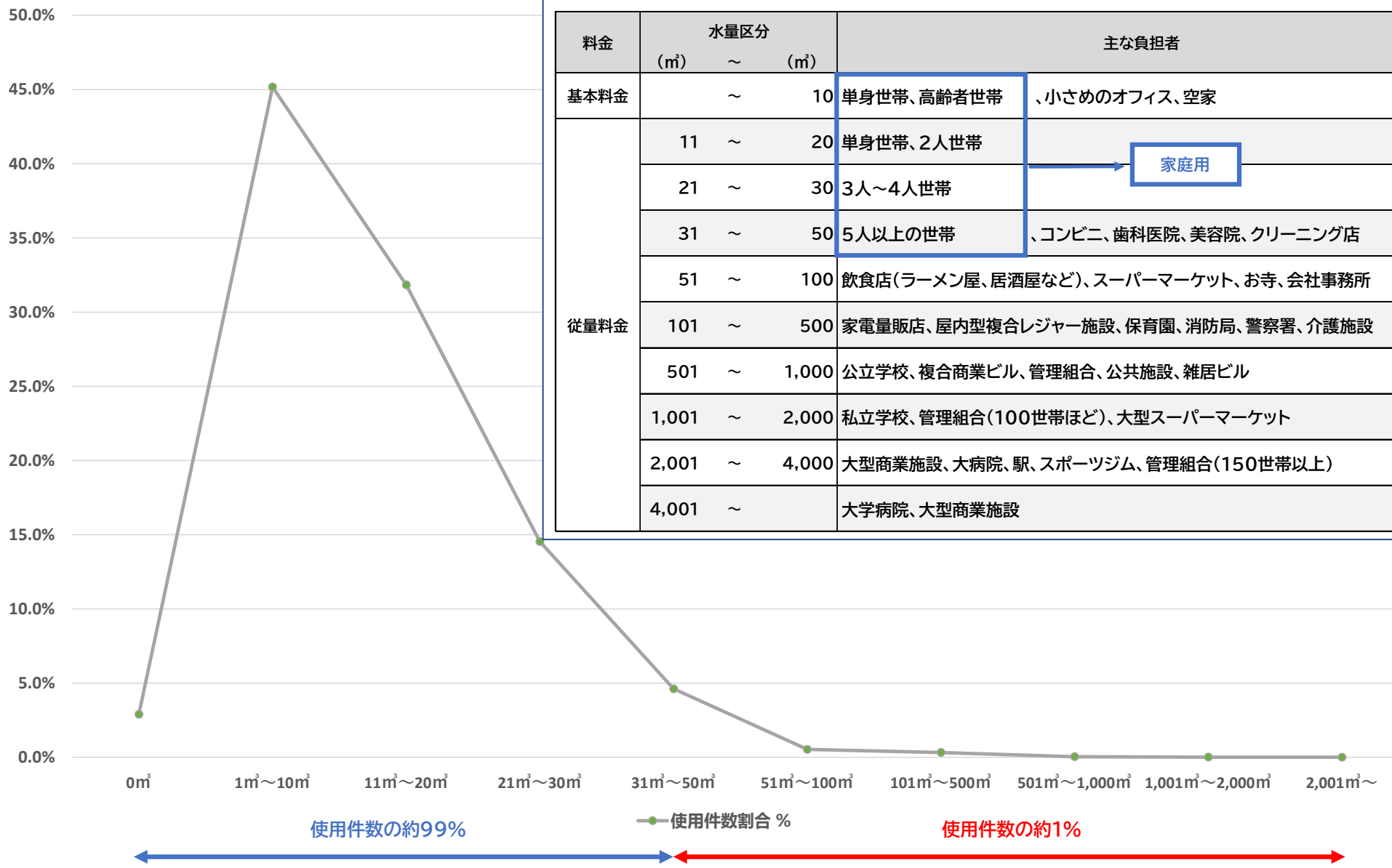
← 小口（一般世帯）

（1件あたり平均12㎥/月 使用）

大口（法人等） →

（1件あたり平均400㎥/月 使用）

（3）水量区分別の主な負担者



○本市の水量区分別の主な負担者（1ヶ月分）

料金	水量区分（㎥）	～	（㎥）	主な負担者
基本料金		～	10	単身世帯、高齢者世帯、小さめのオフィス、空家
従量料金	11	～	20	単身世帯、２人世帯
	21	～	30	３人～４人世帯
	31	～	50	５人以上の世帯、コンビニ、歯科医院、美容院、クリーニング店
	51	～	100	飲食店（ラーメン屋、居酒屋など）、スーパーマーケット、お寺、会社事務所
	101	～	500	家電量販店、屋内型複合レジャー施設、保育園、消防局、警察署、介護施設
	501	～	1,000	公立学校、複合商業ビル、管理組合、公共施設、雑居ビル
	1,001	～	2,000	私立学校、管理組合（100世帯ほど）、大型スーパーマーケット
	2,001	～	4,000	大型商業施設、大病院、駅、スポーツジム、管理組合（150世帯以上）
	4,001	～		大学病院、大型商業施設

家庭用

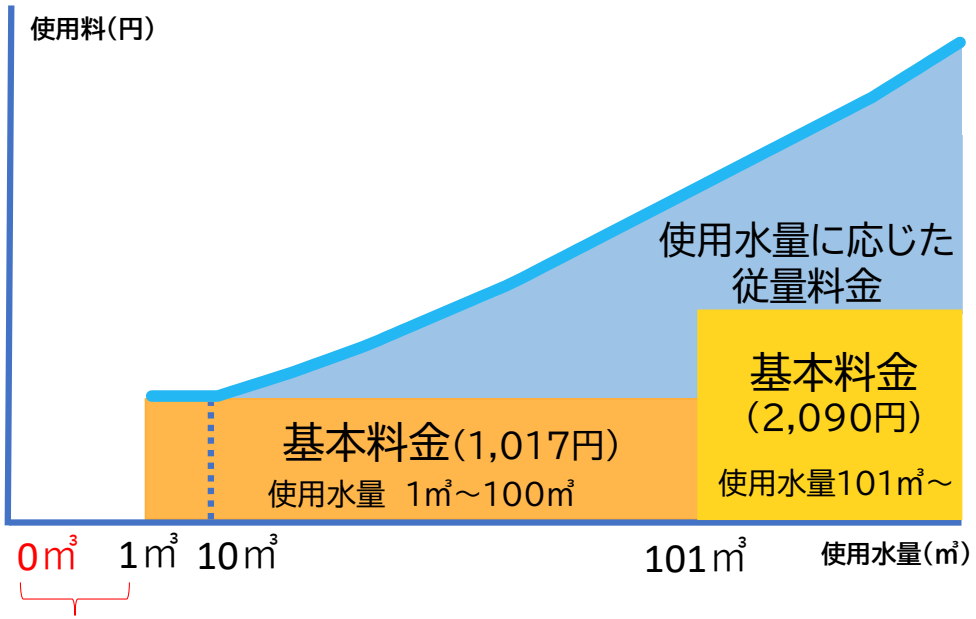
1 審議事項

審議事項	(1)一般世帯に配慮した料金体系とすることについて (2)国の指針に倣い、基本料金と従量料金の区分を明確化 ① 基本料金を一律にすることについて(現在は2段階、1㎥未満は基本料金なし) ② 1㎥から従量料金とすることについて(現在は10㎥から従量料金を徴収)

(平均改定率約10%)

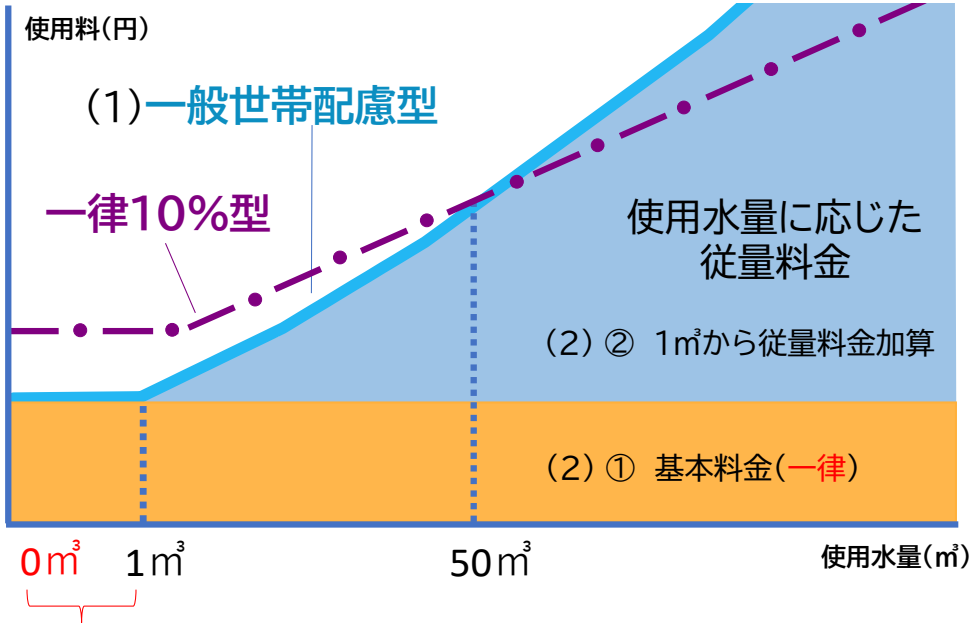
現在:使用料単価144円/㎥(税抜) → 今後:使用料単価157円/㎥(税抜)

【これまでの料金体系】 (税込)



基本料金なし

【料金改定案イメージ】 (税込)

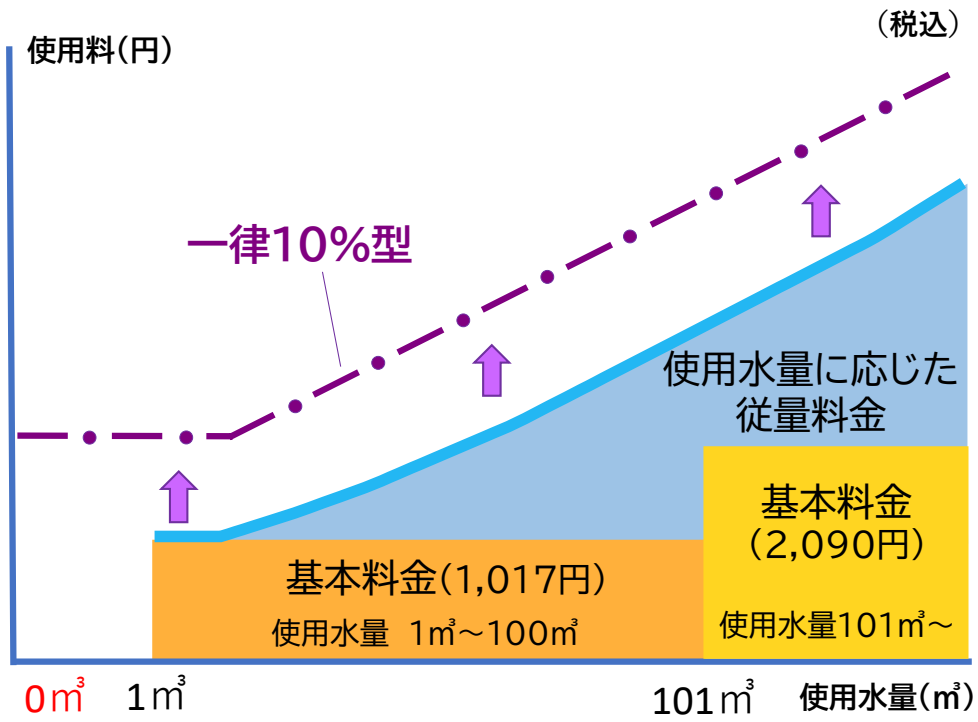


基本料金あり

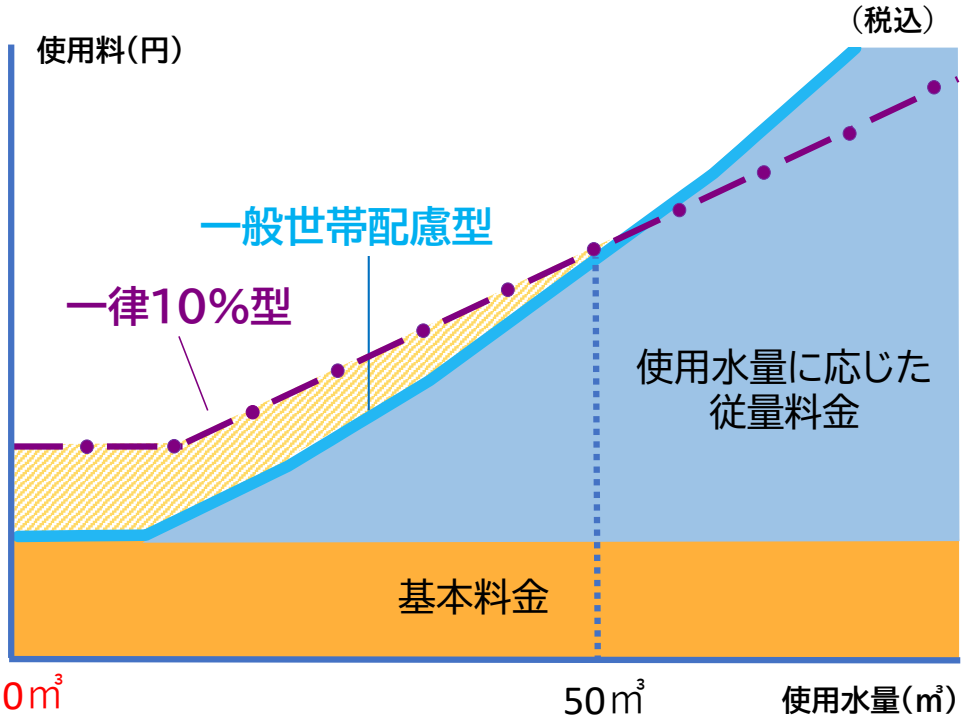
（1）一般世帯に配慮した料金体系とすることについて

物価高による生活への配慮と、近隣市との負担の均衡を図るため

【一律10%アップ改定】



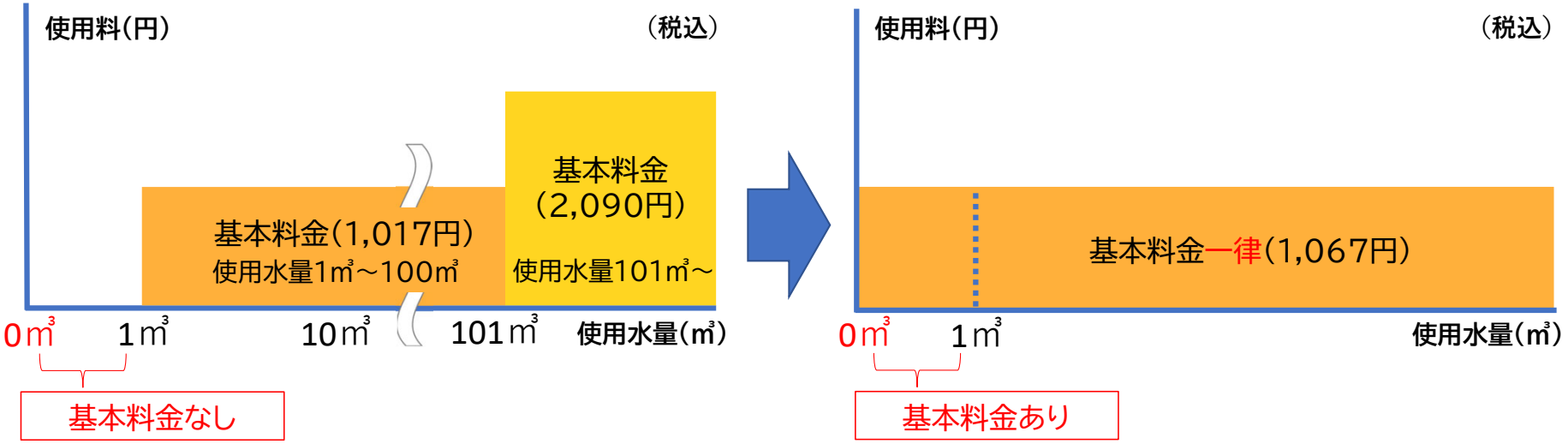
【一般世帯配慮型の改定】



（2）国の指針に倣い、基本料金と従量料金の区分を明確化

① 基本料金を一律にすることについて

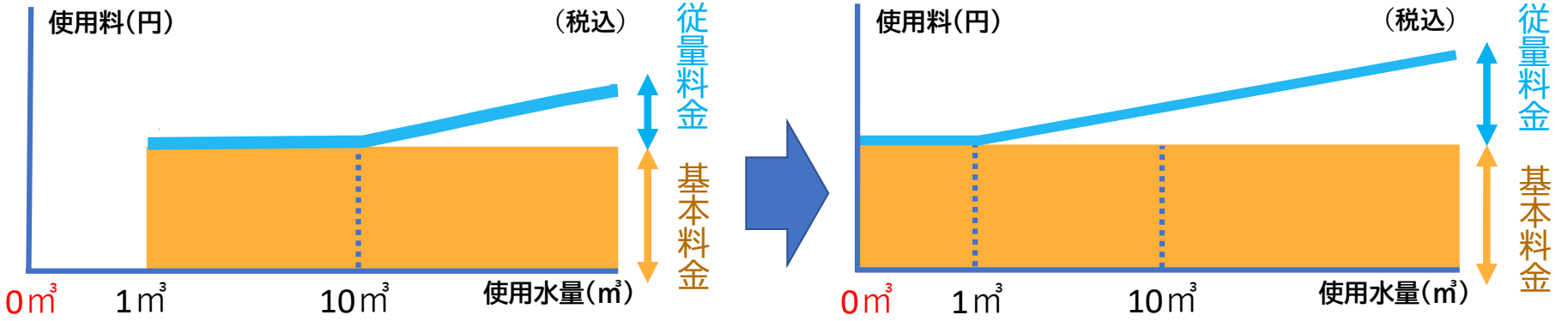
使用水量の多寡に関わらずかかる経費の回収は、基本料金として明確化（1㎥未満の徴収）



② 1㎥から従量料金とすることについて

使用水量に応じてかかる経費の回収は、従量料金として明確化

※水道・下水道ともに1㎥未満は切り捨て



2. 適正な料金体系に対する考え方について《参考》

・ 近隣市の使用料体系

※料金単価は税抜

市川市			鎌ヶ谷市			松戸市		
施行日	R5.4.1		施行日	H20.4.1		施行日	H19.4.1	
	使用水量（m3）	料金単価		使用水量（m3）	料金単価		使用水量（m3）	料金単価
一般汚水	0 m3の徴収	なし	一般汚水	0 m3の徴収	なし	一般汚水	0 m3の徴収	有り
	基本料金（1～100m3）	925 円		基本料金	953 円		基本料金	964 円
	基本料金（101m3～）	1900 円						
	11 ～ 20	147 円/m3		11 ～ 20	150 円/m3		11 ～ 20	128 円/m3
	21 ～ 30	167 円/m3		21 ～ 30	195 円/m3		21 ～ 30	162 円/m3
	31 ～ 50	198 円/m3		31 ～ 50	248 円/m3		31 ～ 50	191 円/m3
	51 ～ 100	239 円/m3		51 ～ 100	293 円/m3		51 ～ 80	280 円/m3
	101 ～ 500	289 円/m3		101 ～ 500	328 円/m3		81 ～ 200	339 円/m3
	501 ～ 1000	335 円/m3		501 ～ 1000	364 円/m3		201 ～	442 円/m3
	1001 ～ 2000	383 円/m3		1001 ～ 2000	402 円/m3		～	円/m3
	2001 ～	432 円/m3		2001 ～	442 円/m3		～	円/m3
	～	円/m3		～	円/m3		～	円/m3
標準家庭月額（20㎥）税抜		2,395 円	標準家庭月額（20㎥）税抜		2,453 円	標準家庭月額（20㎥）税抜		2,244 円
税		239 円	税		245 円	税		224 円
標準家庭月額（20㎥）税込		2,634 円	標準家庭月額（20㎥）税込		2,698 円	標準家庭月額（20㎥）税込		2,468 円
使用料単価（R7年度）税抜		144.02円/㎥	使用料単価（R7年度）税抜		156.45円/㎥	使用料単価（R7年度）税抜		149.24 円/㎥

柏市			船橋市			浦安市		
施行日	H24.5.1		施行日	R2.7.1		施行日	R1.10.1	
	使用水量（m3）	料金単価		使用水量（m3）	料金単価		使用水量（m3）	料金単価
一般汚水	0 m3の徴収	有り	一般汚水	0 m3の徴収	有り	一般汚水	0 m3の徴収	有り
	基本料金	543 円		基本料金	690 円		基本料金	780 円
	1 ～ 10	46 円/m3		1 ～ 10	31 円/m3		11 ～ 20	90 円/m3
	11 ～ 20	114 円/m3		11 ～ 20	101 円/m3		21 ～ 30	102 円/m3
	21 ～ 30	136 円/m3		21 ～ 30	165 円/m3		31 ～ 50	114 円/m3
	31 ～ 50	183 円/m3		31 ～ 50	230 円/m3		51 ～ 100	126 円/m3
	51 ～ 100	233 円/m3		51 ～ 100	275 円/m3		101 ～ 500	138 円/m3
	101 ～ 500	292 円/m3		101 ～ 500	295 円/m3		501 ～ 1000	150 円/m3
	501 ～	351 円/m3		501 ～ 1000	320 円/m3		1001 ～	168 円/m3
	～	円/m3		1001 ～ 2000	335 円/m3		～	円/m3
	～	円/m3		2001 ～	380 円/m3		～	円/m3
標準家庭月額（20㎥）税抜		2,143 円	標準家庭月額（20㎥）税抜		2,010 円	標準家庭月額（20㎥）税抜		1,680 円
税		214 円	税		201 円	税		168 円
標準家庭月額（20㎥）税込		2,357 円	標準家庭月額（20㎥）税込		2,211 円	標準家庭月額（20㎥）税込		1,848 円
使用料単価（R7年度）税抜		147.74円/㎥	使用料単価（R7年度）税抜		140.93円/m3	使用料単価（R7年度）税抜		119.55 円/m3

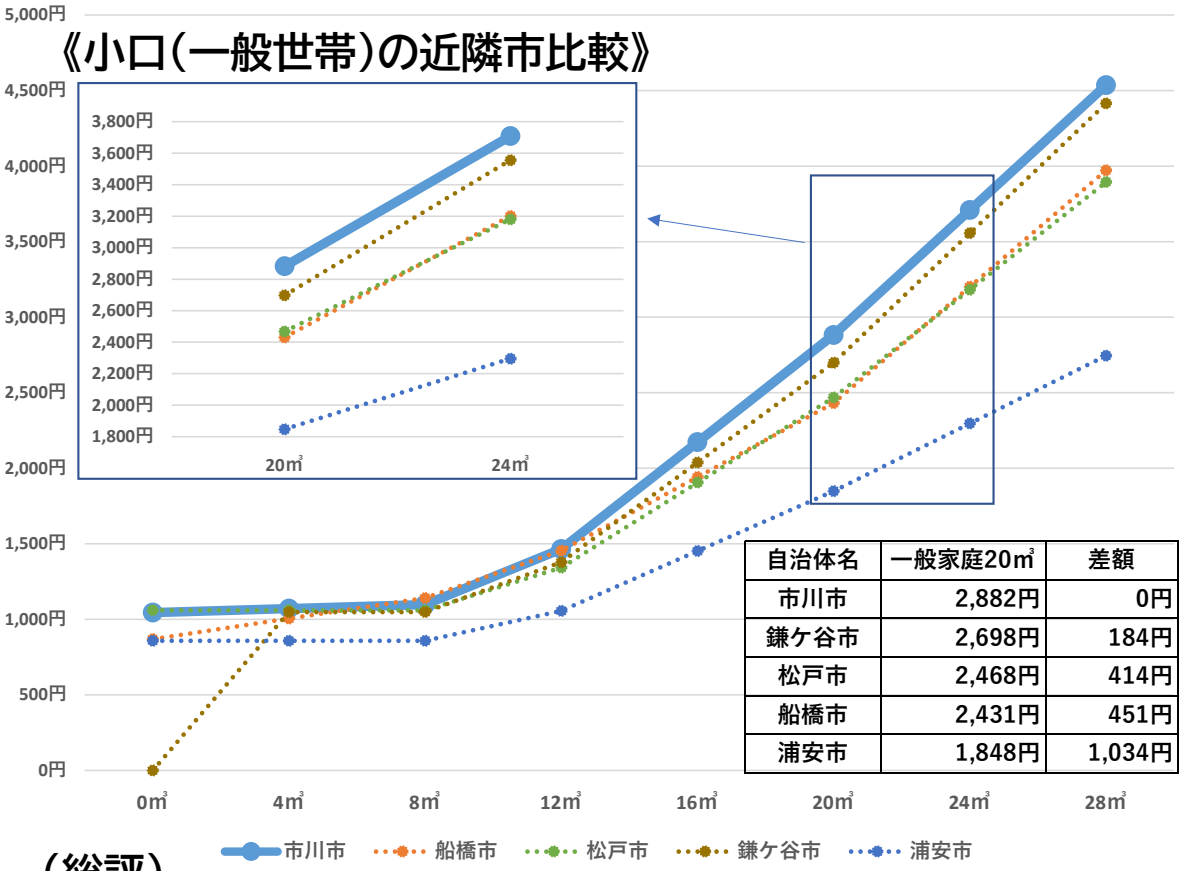
(1)一般世帯に配慮した料金体系とすることについて

① 一律10%型

以下、試算値（税込）

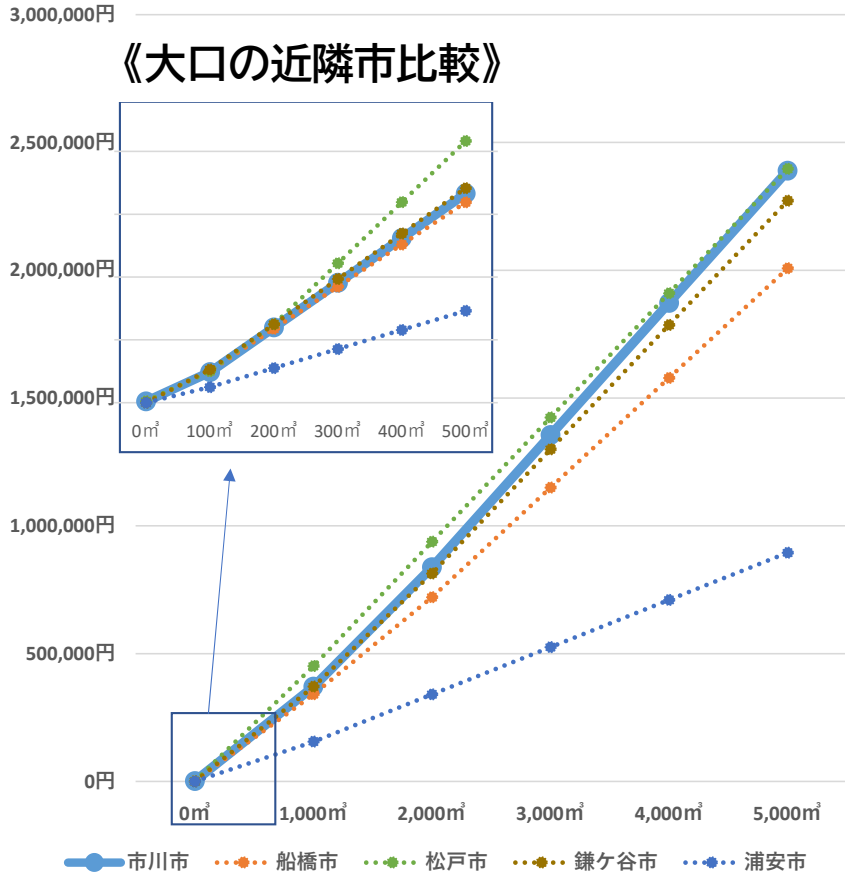
	0㎥	10㎥	**20㎥**	30㎥	50㎥	100㎥	500㎥	1,000㎥	2,000㎥	4,000㎥
(現行)	0円	1,017円	**2,634円**	4,471円	8,827円	21,972円	150,205円	334,455円	755,755円	1,706,155円
(改定後)	1,067円	1,111円	**2,882円**	4,950円	9,768円	24,343円	166,463円	370,513円	838,013円	1,872,013円
(増減率)	皆増	**109.24%**	**109.42%**	**110.71%**	**110.66%**	**110.79%**	**110.82%**	**110.78%**	**110.88%**	**109.72%**
(改定後)－(現行)	1,067円	94円	**248円**	479円	941円	2,371円	16,258円	36,058円	82,258円	165,858円

《小口(一般世帯)の近隣市比較》



自治体名	一般家庭20㎥	差額
市川市	2,882円	0円
鎌ケ谷市	2,698円	184円
松戸市	2,468円	414円
船橋市	2,431円	451円
浦安市	1,848円	1,034円

《大口の近隣市比較》



(総評)

一見公平に負担しているように見えるが、小口(一般世帯)の負担が割合として高くなる設計

- 原因者負担の原則と照らして適切とは言い難い
- 近隣市と比較しても、一般世帯の負担が明らかに高くなる

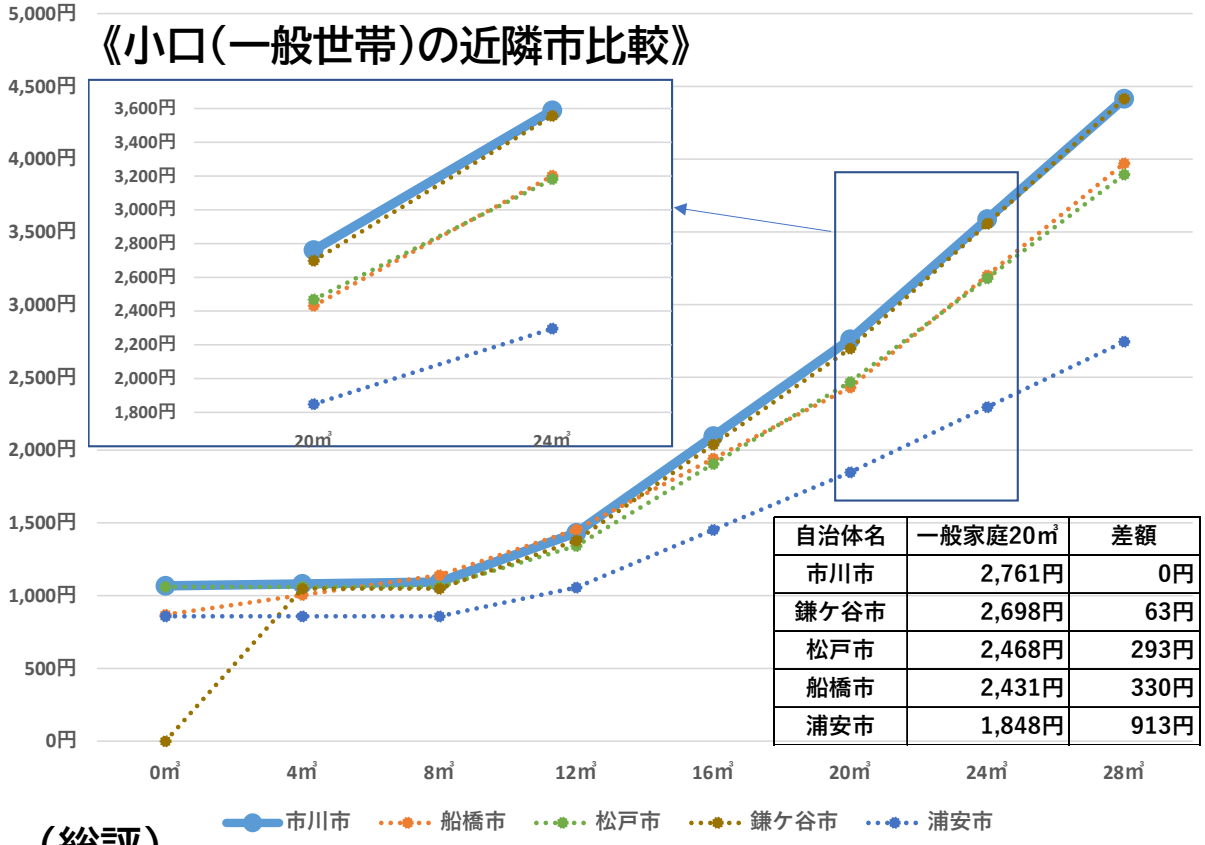
(1)一般世帯に配慮した料金体系とすることについて

② 一般世帯配慮型

以下、試算値（税込）

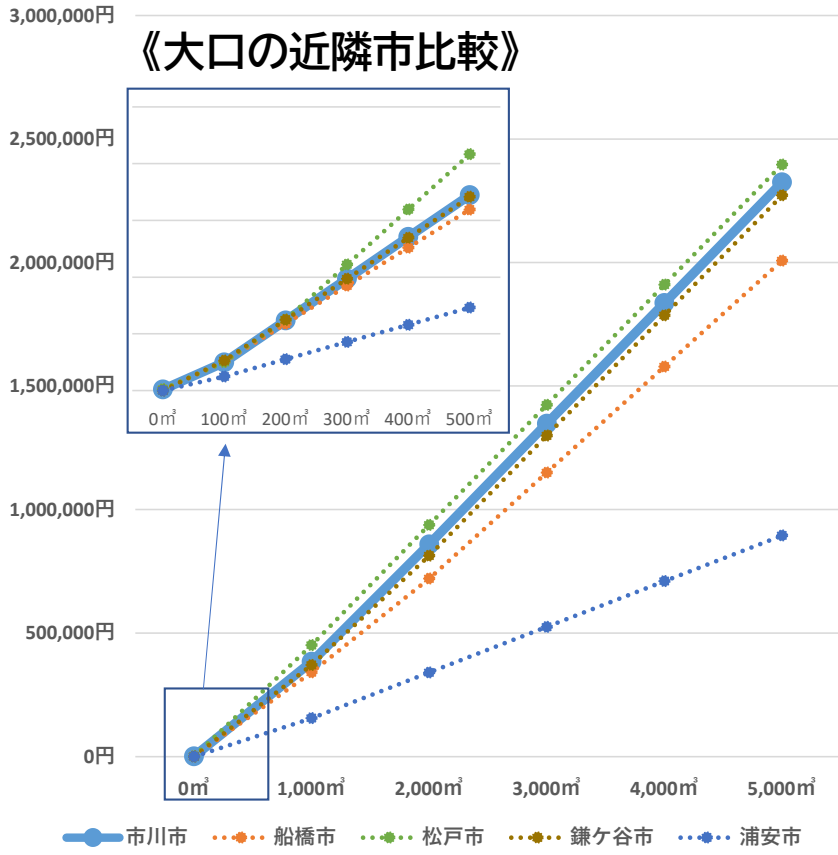
	0㎥	10㎥	**20㎥**	30㎥	50㎥	100㎥	500㎥	1,000㎥	2,000㎥	4,000㎥
(現行)	0円	1,017円	**2,634円**	4,471円	8,827円	21,972円	150,205円	334,455円	755,755円	1,706,155円
(改定後)	1,067円	1,100円	**2,761円**	4,829円	9,823円	24,893円	172,293円	384,043円	859,243円	1,836,043円
(増減率)	皆増	108.16%	**104.82%**	**108.01%**	111.28%	113.29%	**114.71%**	**114.83%**	113.69%	107.61%
(改定後)－(現行)	1,067円	83円	**127円**	358円	996円	2,921円	22,088円	49,588円	103,488円	129,888円

《小口(一般世帯)の近隣市比較》



自治体名	一般家庭20㎥	差額
市川市	2,761円	0円
鎌ケ谷市	2,698円	63円
松戸市	2,468円	293円
船橋市	2,431円	330円
浦安市	1,848円	913円

《大口の近隣市比較》



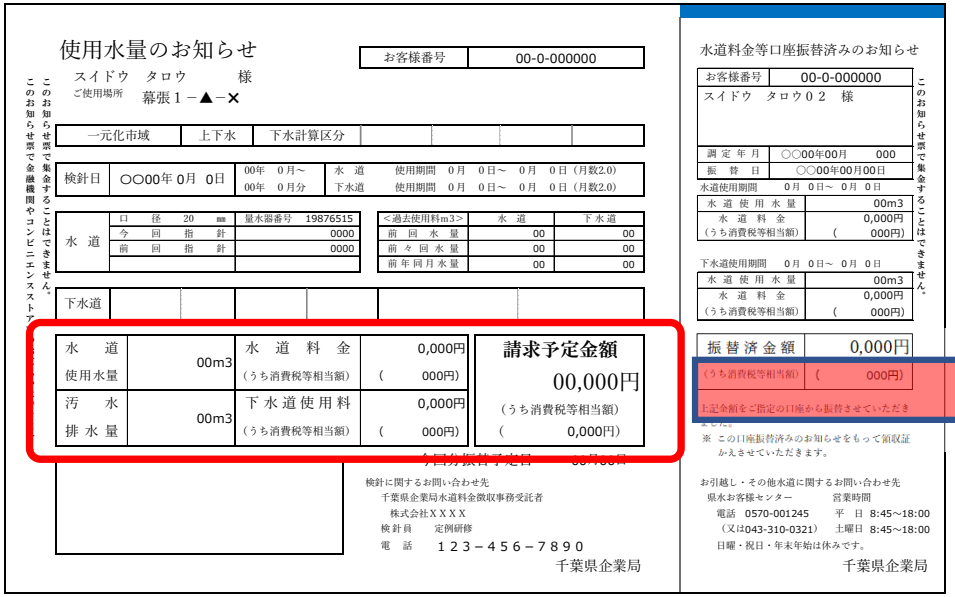
(総評)

小口の20㎥の負担を5%程度の増加に抑えつつ、大口の負担も15%程度に抑え、バランスを重視した設計

- 小口の20㎥～30㎥の負担が、近隣市と比較し、やや高い水準になる
- 1,001㎥以上の改定率を抑えたのは、近隣市の金額の範囲内とするため

2. 適正な料金体系に対する考え方について《参考》

●使用水量のお知らせ(検針票)イメージ　（金額は2か月分）



使用水量のお知らせ

お客様番号　00-0-000000

スイドウ　タロウ　様
ご使用場所　幕張１－▲－×

一元化市域	上下水	下水計算区分				

検針日	○○00年 0月 0日	00年 0月～00年 0月分	水道　使用期間 0月 0日～ 0月 0日（月数2.0）
			下水道　使用期間 0月 0日～ 0月 0日（月数2.0）

水道	口径 20 ㎜	量水器番号 19876515
	今回指針	0000
	前回指針	0000

<過去使用料m3>	水道	下水道
前回水量	00	00
前々回水量	00	00
前年同月水量	00	00

下水道

水道使用水量	00m3	水道料金（うち消費税等相当額）	0,000円（000円）
汚水排水量	00m3	下水道使用料（うち消費税等相当額）	0,000円（000円）

請求予定金額 00,000円（うち消費税等相当額）（0,000円）

今回分振替予定日

検針に関するお問い合わせ先
千葉県企業局水道料金徴収事務受託者
株式会社ＸＸＸＸ
検針員　定例研修
電　話　１２３－４５６－７８９０
千葉県企業局

水道料金等口座振替済みのお知らせ

お客様番号　00-0-000000
スイドウ　タロウ０２　様

調定年月	○○00年00月 000
振替日	○○00年00月00日

水道使用期間　0月 0日～ 0月 0日

水道使用水量	00m3
水道料金（うち消費税等相当額）	0,000円（000円）

下水道使用期間　0月 0日～ 0月 0日

水道使用水量	00m3
水道料金（うち消費税等相当額）	0,000円（000円）

振替済金額（うち消費税等相当額）	0,000円（000円）

上記金額をご指定の口座から振替させていただきました。
※ この口座振替済みのお知らせをもって領収証かえさせていただきます。

お引越し・その他水道に関するお問い合わせ先
県水お客様センター　営業時間
電話 0570-001245（又は043-310-0321）
平日 8:45～18:00　土曜日 8:45～18:00
日曜・祝日・年末年始は休みです。
千葉県企業局

このお知らせ票で振替することはできません。

《参考》下水道使用料の計算方法

≪現行の下水道使用料≫1か月20㎥使用した場合、1か月分の使用料

	基本料金（税抜）	使用水量	計算過程	料金
1～10m³（100m³以下）	925	10m3	925円×1月分	925円
1～10m³（101m³以上）	1900	0m3		0円
	従量料金単価（税抜）	使用水量	計算過程	料金
11～20m³	147	10m3	147円×10㎥	1,470円
21～30m³	167	0m3		0円
31～50m³	198	0m3		0円
51～100m³	239	0m3		0円
101～500m³	289	0m3		0円
501～1,000m³	335	0m3		0円
1,001～2,000m³	383	0m3		0円
2,001m³ 以上	432	0m3		0円
使用水量計		20m3	小計	2,395円
			消費税相当額	239円
			合計	2,634円

請求金額イメージ（令和9年4月以降）

≪月0㎥使用の例≫

・現行　（水道料金の口径は20㎜、 金額は2か月分）

水道使用水量	0㎥	水道料金（うち消費税等相当額）	2,420円（220円）	請求予定金額 2,420円（うち消費税等相当額）（220円）
汚水排出量	0㎥	下水道使用料（うち消費税等相当額）	0円（0円）	

・改定後

水道使用水量	0㎥	水道料金（うち消費税等相当額）	2,420円（220円）	請求予定金額 4,554円（うち消費税等相当額）（414円）
汚水排出量	0㎥	下水道使用料（うち消費税等相当額）	2,134円（194円）	

≪月20㎥使用の例≫

・現行　（水道料金の口径は20㎜、 金額は2か月分）

水道使用水量	40㎥	水道料金（うち消費税等相当額）	7,740円（703円）	請求予定金額 13,008円（うち消費税等相当額）（1,181円）
汚水排出量	40㎥	下水道使用料（うち消費税等相当額）	5,268円（478円）	

・改定後

水道使用水量	40㎥	水道料金（うち消費税等相当額）	7,740円（703円）	請求予定金額 13,262円（うち消費税等相当額）（1,205円）
汚水排出量	40㎥	下水道使用料（うち消費税等相当額）	5,522円（502円）	

次回は、今回の審議内容を踏まえまして、答申案について提案し、ご審議いただきます

・使用料改定に向けたスケジュール（案）

審議会	時期	主な審議事項
第3回（今回）	令和8年11月	・適正な料金体系に対する考え方について
第4回	令和9年1月	・答申（案）について
結　論	令和9年3月	・答申

年度	令和８年度					令和９年度				令和１０年度	
	７月	８月	１１月	１月	３月	７月	９月	１２月	２月	９月	１０月
審議会	第１回	第２回	第３回	第４回	答申						
庁内合意						合意					
条例改正							９月議会				
(県)補正予算								12月議会			
(県)システム改修									改修開始	改修終了	
新料金施行											施行